

震災津波伝承施設（仮称）の正式名称について

【要旨】

陸前高田市の高田松原津波復興祈念公園内に整備を進めている震災津波伝承施設（仮称）の正式名称を「東日本大震災津波伝承館」に決定しましたので、お知らせします。

1 東日本大震災津波伝承館の概要

(1) 整備の場所

国、県及び陸前高田市が連携して陸前高田市高田松原地区に整備を進めている「高田松原津波復興祈念公園」^{※1}において、再建される道の駅「高田松原」内に整備^{※2}するものです。

※1 国が整備する国営追悼・祈念施設（仮称）を中心として、県・市が整備する区域も含めて一体的な公園として整備（公園区域面積：約130ha）。

※2 国が整備する建物内に、県が伝承施設を整備（施設面積：約1,475㎡）。

(2) 施設の使命

- 多くの尊い命を失った東日本大震災津波のありのままの事実と命を守るための教訓を語り継ぎ、未来へ伝承
- 世界に向け、災害を乗り越え、復興に向けて力強く歩んでいく姿を発信

(3) 展示のテーマ（展示を通じ、問いかけるもの）

いのちを守り、海と大地と共に生きる

～二度と東日本大震災津波の悲しみを繰り返さないために～

(4) ミッション・ステートメント[※]

日本列島は、地球上でも特に自然災害の危険性が高い宿命の地であり、この地に生きる私たちは、長年にわたり自然災害への対応力を高めてきました。

しかし、2011年3月11日に発生した東日本大震災津波により、私たちは多くの尊い命を失いました。

この悲しみを繰り返さないためには、知恵と技術で備え、自ら行動することにより、様々な自然災害から命を守り、そして、自然災害を乗り越えていくことが重要です。

東日本大震災津波伝承館は、先人の英知に学び、東日本大震災津波の事実と教訓を世界中の人々と共有し、自然災害に強い社会を一緒に実現することを目指します。

そして、東日本大震災津波を乗り越えて進む姿を、支援への感謝とともに発信していきます。

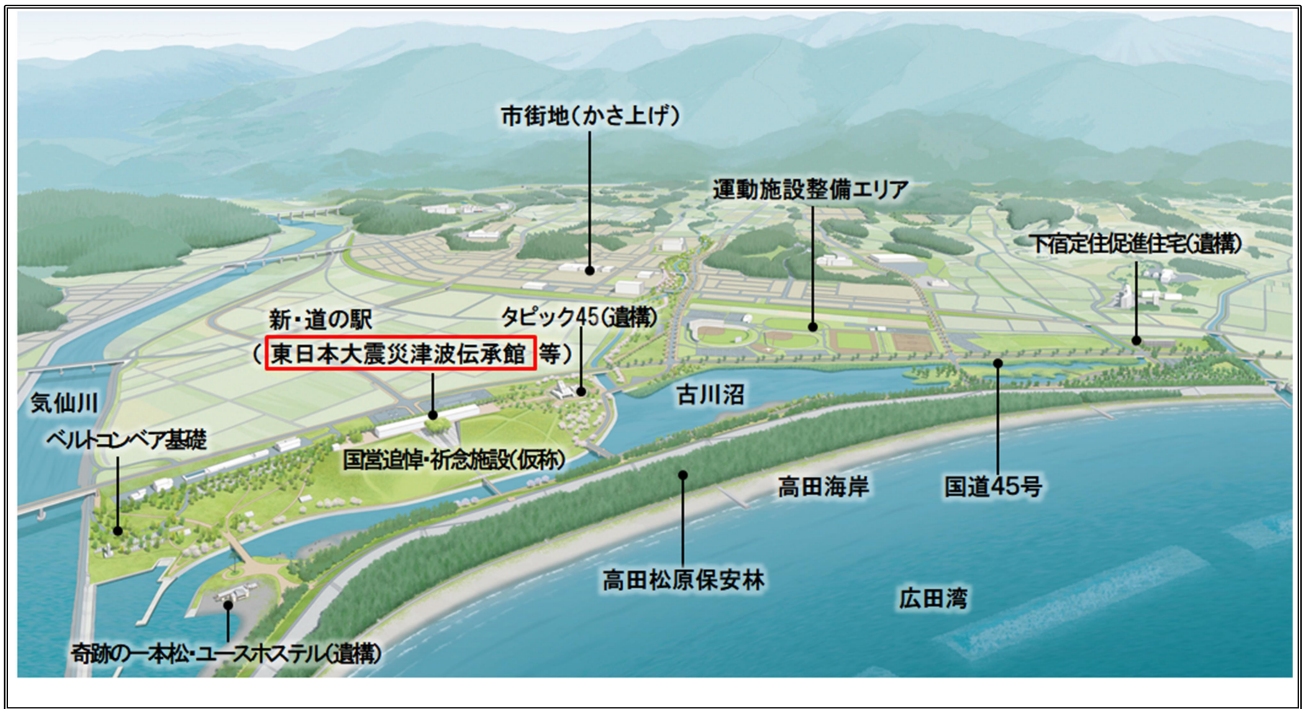
※ 来館者に向けて、施設の基本理念を表明することにより、展示及び事業運営の指針を明確に示し、訴求力を高めようとするものです。

2 今後の予定

- (1) 今後、愛称について公募を行い、本年6月頃に決定したいと考えています。
- (2) 今月から展示製作に着手しており、来年のラグビーワールドカップ2019™釜石開催前の開館を目標として整備を進めます。

【担当：特命課長 小野寺（重）】

【高田松原津波復興祈念公園の鳥瞰イメージ】



【東日本大震災津波伝承館 展示イメージ】

